



岸和田市中井町2丁目7番1号
ぎ
夜 疑 神 社
宮 司 原 充 昭
TEL 072-445-2191
FAX 072-444-9419

杜 もり

受け継がれる自然の尊さ

自然は、私たち日本人にとって神々をお祀りする神聖な場所でした。自然の恵みのなかで、私たちは長い歴史と伝統を培ってきました。

は、神々をお祀りする神社の意味もあります。古くは神聖な森が、神社と一体視されていたことをうかがうことができます。

このことは、恵みへの感謝や畏敬の念を自然に捧げ、その営みに神々を見いだし、自然と調和する生活を送ってきた日本人の素直で、大らかな自然観の現れといえます。鎮守の森にたたくみ、太古からの息吹に触れ、受け継がれてきた私たちの生命の尊さを実感したいものです。

国土の約四分の三が山地で、三分の二を森林が占める日本列島。太古から日本人は森とともに生き、森を生かし、また森に生かされてきました。

本山の語源は「降る」ともいわれ「モリ」には神霊が天空より天降り、そして鎮まる神聖な場所という意味があるといわれています。奈良時代に編纂された『万葉集』などには、森を「杜」と表記しています。杜という言葉に



祝日には国旗を掲げましょう。

氏子地域

中井地・吉井地・荒木地・箕土路地・下池田地・西大路地
大町地・小松里地・額地・額原地・池尻地・並に泉北郡忠岡町北出地・向高月地の各地域

コト始め

正月が近づくとき家の中を掃除し、門松や注連縄を買ってきたり鏡餅を飾ったりと準備をします。この正月の用意を始める日を「正月始め」「コト始め」と称して、十二月八日または十三日にするとところが多いようです。正月にはどの家庭でも歳神を迎え祭事をしたもので、そのための準備を始める日なのです。当社でもこの頃、鳥居に懸けられる注連縄が中井町の有志によって縄われています。

厄除祈願

一般に数え年で男性は二十五・四十二・六十一歳、女性は十九・三十三・三十七歳が厄年です。中でも男性の四十二歳、女性の三十三歳は大厄とされ、その後を前厄・後厄といいます。心身共に熟年に達し、社会的・家庭的・肉体的な変動や転機の時期であり、重要な節目になることが多いので、これらの歳を災いの多い年とするのは、単なる迷信とも思えません。こうした時、神前に参詣して自ら心を引き締め、誓いと覚悟を新たにすることは非常に意義のあることとしましょう。

正月行事のご案内

- 一日 歳旦祭
・午前九時半～午後三時半 浪速神楽奉納
 - 二日～会社・工場の作業安全 各種団体の新年祈祷 家々の家内安全祈願 (要予約)
 - 九日～十日 えびす祭
福笹、吉兆等授与
・九日、十日 甘酒の接待(無料)
夜 浪速神楽奉納
- ※元日の日中は駐車場が大変混雑致します。できるだけ徒歩・自転車にてご参拝下さい。

巫女・福娘募集

元旦の「巫女」
戎祭の「福娘」の社頭ご奉仕をしていただけませんか。

巫女 一月一日
福娘 一月九日(月・祝)午後10時(火)

十八歳～三十歳の未婚の女性。御希望の方は、事前に御連絡の上、履歴書(写真要)をお持ち下さい。

巫女のみ、福娘のみの希望も可。時間・ご奉仕料等は、お問い合わせ下さい。

男性	女性
平成5年生	平成11年生
25歳	19歳
昭和52年生	昭和61年生
41歳(前厄)	32歳(前厄)
昭和51年生	昭和60年生
42歳(本厄)	33歳(本厄)
昭和50年生	昭和59年生
43歳(後厄)	34歳(後厄)
昭和32年生	昭和56年生
61歳(還暦)	37歳